

推 薦 入 試

小 論 文

注 意 事 項

1. 「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を除いて2枚、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。
「はじめ」の合図があってから確かめなさい。
3. 監督者の指示に従い、解答用紙に受験番号を記入しなさい。ただし、氏名を書いてはいけません。
4. 文字などの印刷に不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に知らせなさい。
5. 解答はすべて解答用紙に横書きで記入しなさい。ただし、「総得点欄」「採点欄」に記入してはいけません。
6. 試験終了後、配付された問題用紙、下書用紙は持ち帰りなさい。

問題用紙

(小論文)

次の文章を読み、次ページの間1・間2に答えなさい。

世界人口は70億人を突破し、2050年には98億人に達すると予測されています。人間活動に伴う地球環境への負荷はますます増大し、人類の生存基盤である地球環境は存続の危機に瀕^{ひん}しています。こうした危機感を背景に、2015年に「持続可能な開発目標(SDGs)※¹」と「パリ協定※²」が採択されました。世界は持続可能な社会に向けた大きな転換点を迎えています。

一方、我が国は、本格的な人口減少・少子高齢化を迎えています。地方から都市への人口流出が継続し、地方の活力の低下によって、里地里山など豊かな自然環境が失われつつあります。

2018年4月に閣議決定した第五次環境基本計画では、そうした国際・国内情勢に的確に対応するため、SDGsの考え方も活用し、環境・経済・社会の統合的向上を具体化することで、将来にわたって質の高い生活をもたらす「新たな成長」につなげることを目指しています。

※1：2015年9月の国連総会において採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っている。

※2：2015年12月の気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)で採択された気候変動に関する国際枠組み。世界全体の平均気温の上昇を2℃より十分下方に抑えるとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること、そのために、今世紀後半に人為的な温室効果ガス排出の実質ゼロ(人為的な温室効果ガス排出量と吸収量を均衡させること)を目指している。

(出典：平成30年度版環境・循環型社会・生物多様性白書(PDF版))

問題用紙
(小論文)

問1 持続可能な社会とは何かを70字以内で説明しなさい。

問2 持続可能な社会を実現するために、解決しなければならない問題を一つ挙げなさい。また、その問題をどのように解決するか、問題を解決するためにどのような技術を開発する必要があるか、そしてその技術を開発するために本学でどのようなことを学びたいかを400字以内で述べなさい。